

地域づくり活動 NPO 事業助成（連携重視）事業 実績報告

団体名	特定非営利活動法人 大山捕獲隊	代表者名	理事長 西牧正美
事業名	篠山地域連動外来生物捕獲事業		

<事業実施実績>

年 月 日	活 動 内 容
通 年 (毎月不定期)	<p>【情報交換運営会議】</p> <p>□隊員の都合により不定期にはなりますが、隊員が集まって情報の交換・共有の為に月一の状況で運営会議を行いました。被害の現状や捕獲状況など、特に近況の注意事項を確認し合います。これは、四季や農作物（イチゴやスイカなど）の熟成期にも関係し、箱ワナの設置位置の移設や増設など、被害防除に向けて行いました。</p>
情報紙発行 (毎月 10 日)	<p>【活動報告書作成・発行】</p> <p>□毎月 10 日発行で、月々にあった捕獲のコトや通算捕獲頭数。そして、その時々々の注意喚起や周知情報をまとめて、活動報告として発行/配布しました。サイズは A4(両面) (市用)・A3(地域用)にまとめて、カラー刷りで発行しています。</p> <p>□配布先は、篠山市本庁(玄関脇掲示板)+5支所・市民センター・近隣協働自治会(5自治会)・県警大山駐在所が標準で、月によっては増える(被害対応地域が広がった場合等)こともあります。</p>
2016 年 6 月 25 日	<p>【意見交換会(兼、慰霊祭)開催】</p> <p>□捕獲活動に関わっている人達と、近隣自治会の役員や被害に遭われた宅の戸主など、年々に関係が有った人達が介して寺院に集い、意見の交換会を行っています。特に「部外者の方からの要望」や「活動の在り方」など、フリートークで話し合いました。</p> <p>□また、この活動の大義名分は「特定外来種駆除」と有りますが、不幸にも対象になった個体に対して慰霊の念が必要とも考えており、牛田住職の読経のもと、その時間を併行しました。</p>
2016 年 12 月 18 日	<p>【総会と全体会議】</p> <p>□今年は例年に無く降雪量が多く、捕獲機器(箱わな)の退避や回収や、家屋侵入の防御など、時期がズレた分いろいろと話題提供が多く、収穫が多い会となりました。</p>

<効果と成果>

今年度は、面的な捕獲(農業被害)と併用して、捕獲要請に応じて住居侵入(生活被害)にもポイントを置いて活動を進めました。

その結果、住居内(屋根裏等)捕獲が大半を占めた33頭を捕獲し、捕獲活動通算194頭のアライグマを捕獲することが出来ました。捕獲が進むにつれて、地域での目視情報も減って被害も確実に減っています。

このような現状(成果)を目の当たりにしますと、天敵がない日本の自然の中で、アライグマを減らせるのは、人力以外に無い現実が見えて来ます。

今後の展開として、『安心と安全を人任せにしない!』を更に見える化して、『地域力+捕獲力』に『地縁』を活動の糧としながら、助成事業としてより相応しい成果を目指して、隊員一同尽力して行きたいと考えております。

<収支決算書>

(収入)

項 目	金額(円)
地域づくり活動NPO事業助成金	500,000
寄附金等	116,078
自己資金	28,000
合 計	644,078

(支出)

区分	項 目	金額(円)	左のうち助成対象金額(円)
直接経費	広報費	258,350	230,000
	消耗品費	143,437	130,000
	旅費交通費	78,503	50,000
	その他(会議費等)	155,388	90,000
	小 計	635,678	500,000
間接経費(一般管理費)		8,400	0
合 計		644,078	500,000